



# 市町村合併とその評価 - 町内会長アンケートから

東北大学 河村和徳

# 調査の対象者

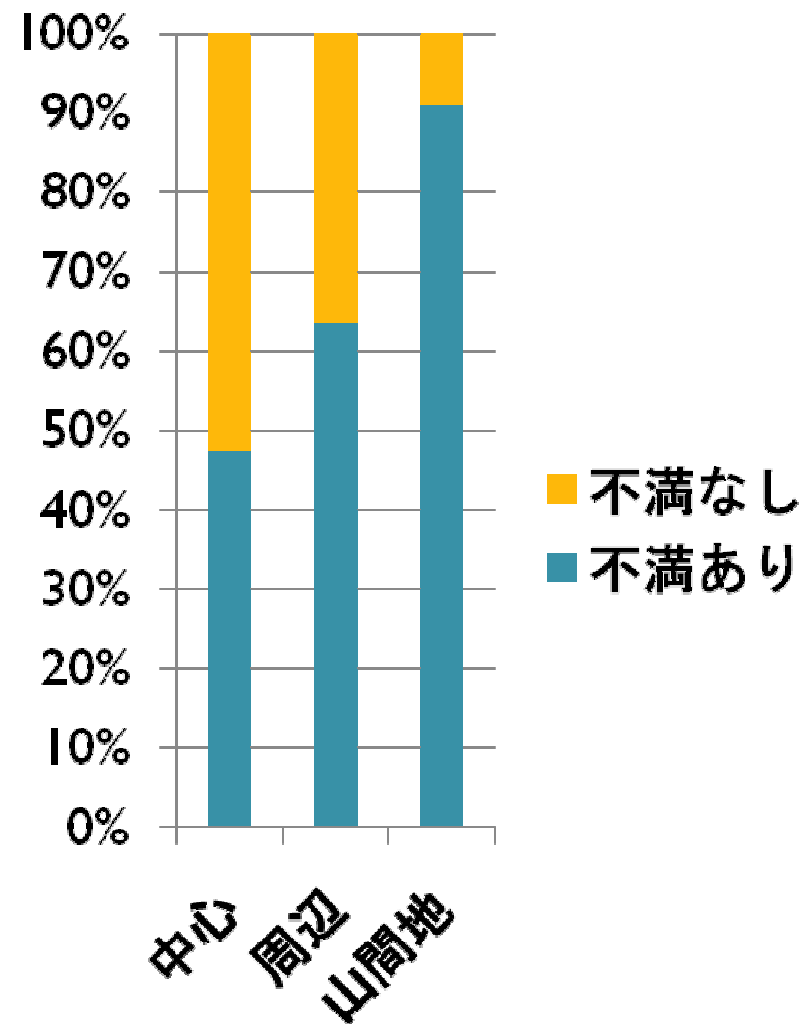
- 白山市町会連合会年次総会出席者全数  
( 169名 )
- 町会長 . . . 平均年齢は 6 0 歳以上、  
とくに山間部、ほとんど男性
- 市中心部 ( 旧松任市 ) 50.3%、周辺部  
( 旧鶴来・美川両町 ) 34.3%、山間部  
( 旧白山麓 5 村 ) 11.8%、未回答 7.1%

# 質問項目

- 合併によって感じた具体的不満等（多重回答、フリー・アンサー）
- 白山市合併の評価（自己、周囲）
- 行政とのコミュニケーションの変化（疎遠になったか）
- 新市の情報提供（公報系）に対する評価
- 住民参加の具体的方策（フリーアンサー）

# 合併に対する評価

- 不満という点からみると・・・
  - 中心部の町会長は不満が少ない（もしくは住民からの突き上げがこない）
  - 周辺 - 山間部にいくに従って不満が大きくなる（ひずみが大きくなる）



# 各地域ごとでの不満の傾向 1

- **中心部（旧松任）**

- 山麓のスキー場に税金が投入されていることへの不満（背景：スキー場に克雪対策の側面があることの無理解）
- 自らのライフスタイルの外にある地域が市域になったことへの不満

救済してあげたという感覚・一体感のなさ、行政との関係にはそれほど不満はない（唯一とっていいのが議員数）

# 各地域ごとでの不満の傾向 2

- **周辺部（旧鶴来・美川町）**
  - **行政の決裁過程に対する不満（除雪への対応の遅さ：鶴来町、山口のため）**
    - 電子決済の導入？自治体内分権？
    - 除雪 住民が具体的イメージできる
  - **合併に伴う補助金削減に対する不満（美川町、約3割）**
    - 町会の財源を行政に依存してきた過去（官依存の町会活動の功罪・・・中間支援組織の検討？）

# 各地域ごとでの不満の傾向 3

- **山間部（白山麓5村）**

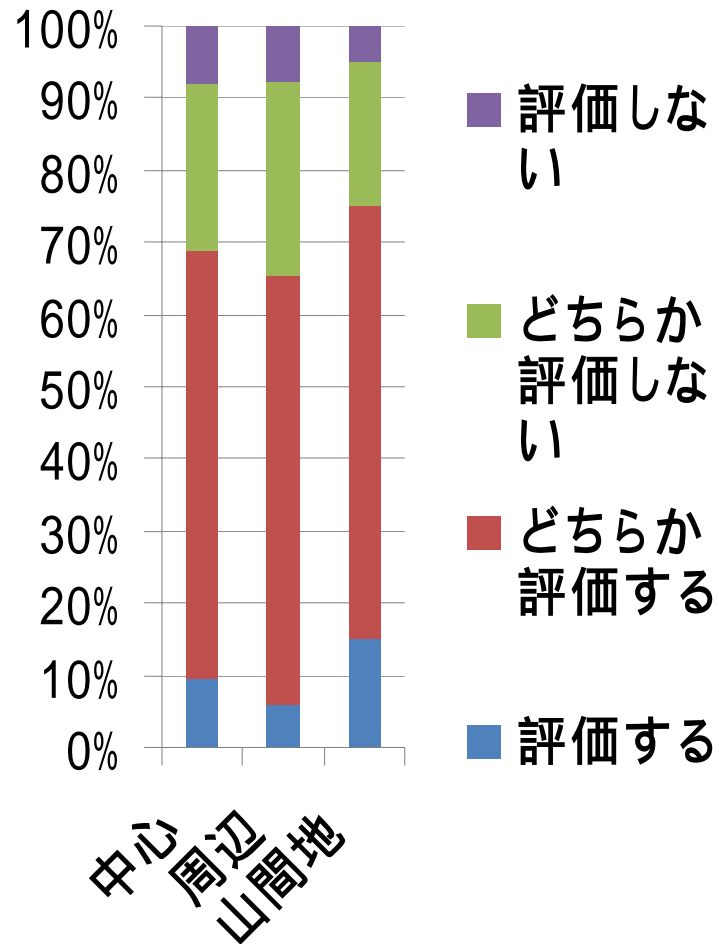
1. 周辺に位置づけられてしまったことから発生する不満（例：自治体内過疎の発生）
2. 住民参加の機会の低下（行政との接触確率の激減 政治への関心・信頼の低下につながっている指摘）
3. 自らの立場の変化
  1. 準議員的な対応が求められている
  2. コストの増大（町場まで出るコスト）

# 共通項としては

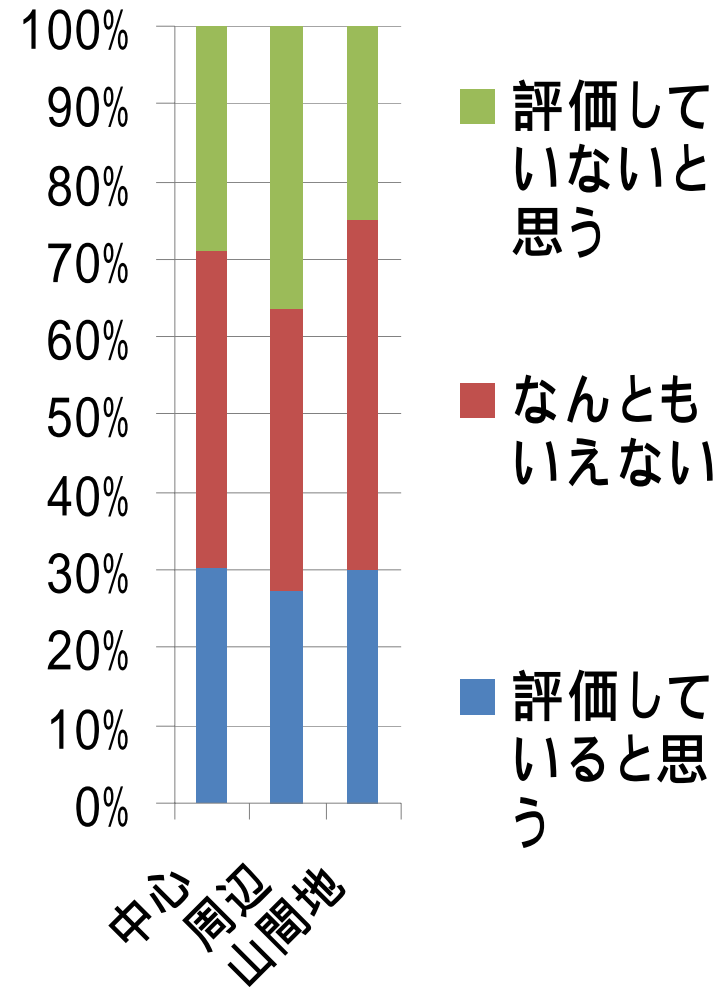
- 合併に伴い、  
行政との接触確率が低下  
提供情報にむら
- 「無駄な」議員を減らせという声がある一方、住民の声を行政は汲んでほしいという意見  
住民参加・市町村議員のあり方像  
(意見の集約機能の側面)？



# 白山市合併に対する評価

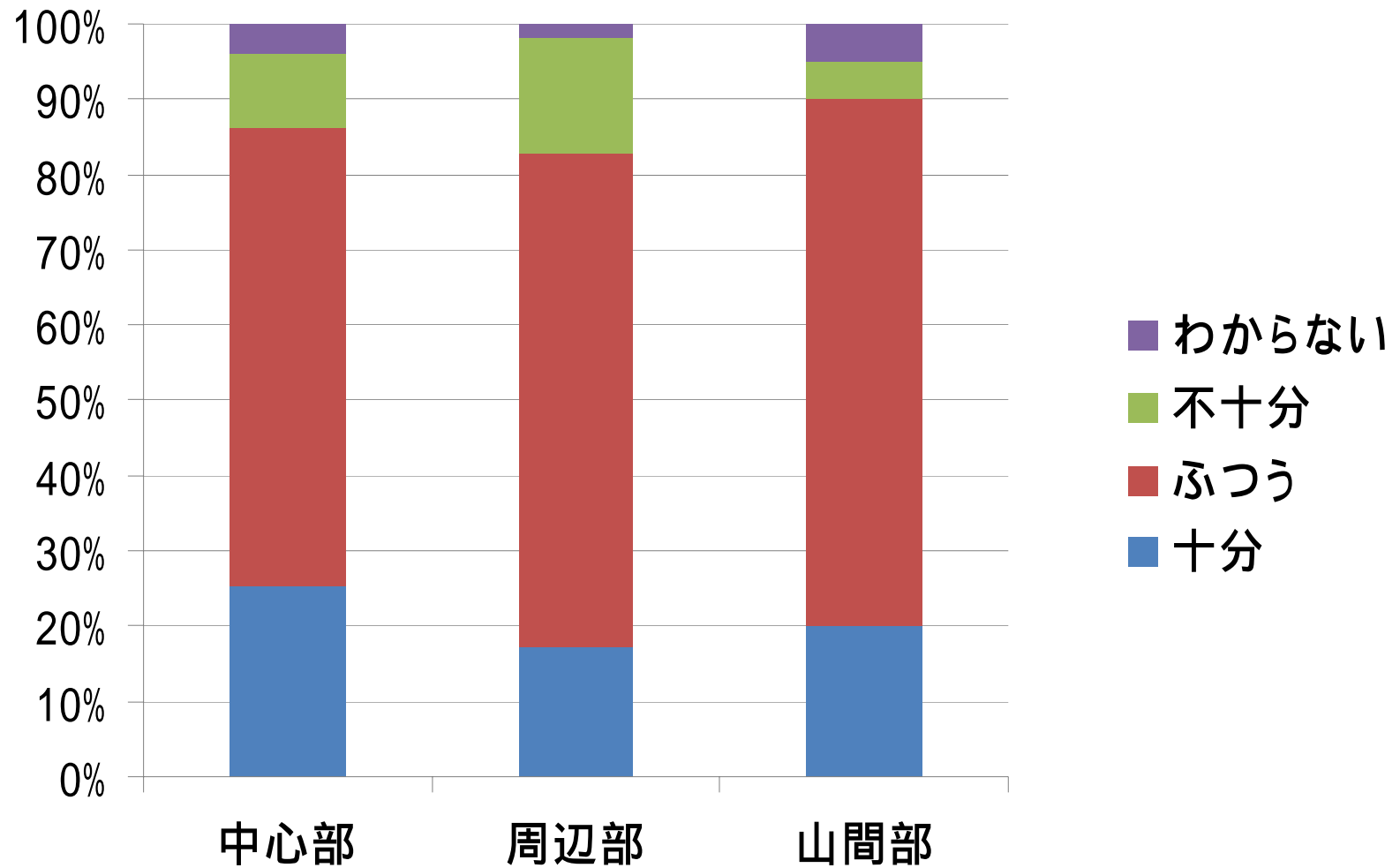


自分の評価

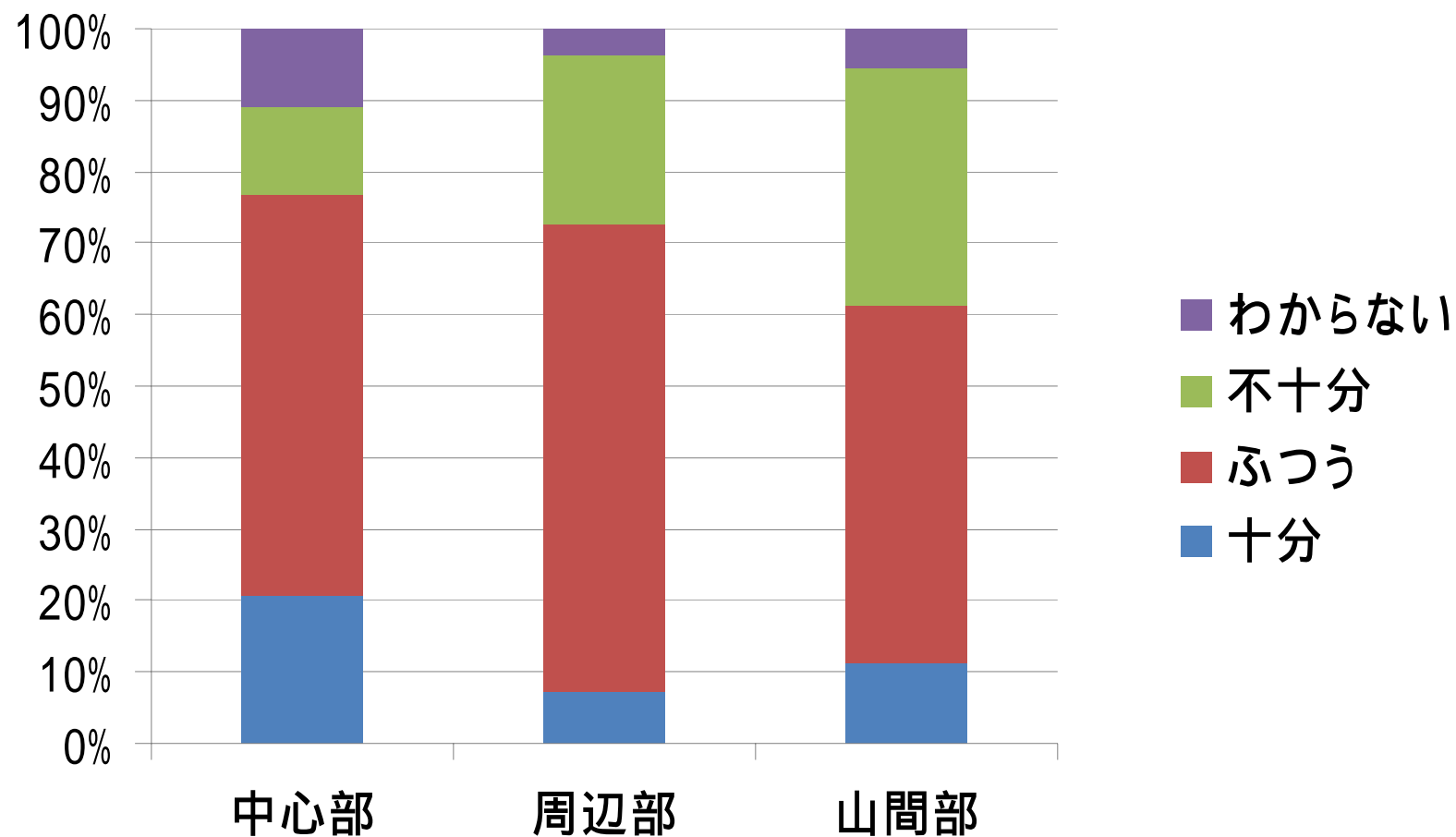


周囲の住民はどうだと思うか

# 広報活動への評価



# 住民の声が反映されているか



# 住民の声を伝える方策の意見

- **中心部**
  - 情報の提供（公開）
  - CATV・インターネットの利用
- **周辺部**
  - 対話の場をつくる（支所の活用）

「平成の大合併」の負の遺産？

町場と山場の混在  
をいかにつくるか

住民参加のシステム

都市部だけ、農村部だけではない新市の課題